

NP0法人と連携した相談支援事業の実績

1 実績（令和6年11月末日現在）

4人

【内訳】20代男性1人、30代女性1人、40代男性1人、50代男性1人

2 考察

- ・全てのケースにおいて、経済困窮が背景にある。公共料金や家賃を滞納したり、食料がない等逼迫した状況だった。経済的・心理的に追い詰められた状況でNP0法人に相談し、区への情報提供につながっている。
- ・逼迫した状況にある方に適切な支援機関を案内する等の対応を引き続き実施することに加えて、差し迫った状況に陥る前に適切な支援機関に相談できるよう、各種窓口を引き続き周知していく必要がある。
- ・自ら区へ相談に来ることが少なかった「若年者」「働き盛りの男性」が、区の支援につながるきっかけとなっている。